

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日  
上場取引所 東

上場会社名 石光商事株式会社  
 コード番号 2750 URL http://www.ishimitsu.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 森本 茂  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役執行役員 管理部門長 (氏名) 山根 清文 (TEL) 078-861-7791(代表)  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	8,471	1.9	△205	—	△228	—	△154	—
26年3月期第1四半期	8,314	△1.6	140	769.9	115	—	39	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △207百万円( —%) 26年3月期第1四半期 △83百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△20.05	—
26年3月期第1四半期	5.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	20,843	7,280	34.1
26年3月期	19,327	7,569	38.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 7,103百万円 26年3月期 7,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,673	5.9	△157	—	△204	—	△135	—	△17.64
通期	36,993	6.9	141	△49.2	55	△76.4	11	△92.8	1.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	8,000,000株	26年3月期	8,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	291,711株	26年3月期	291,711株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	7,708,289株	26年3月期1Q	7,708,289株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済政策や金融政策の効果を背景に企業収益や雇用環境の改善など緩やかながら景気回復の兆しが見られるなか、国際情勢に対する不安感に伴う下振れリスクが懸念されるなど依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品業界は、消費税増税前の駆け込み需要の反動が緩和し始め、緩やかながら消費マインドは改善へ向かっております。しかしながら、消費者の節約志向は根強く、厳しい経営環境であります。

コーヒー業界におきましては、コーヒー生豆相場は期初から4月下旬にかけて高騰し、その後は緩やかな下降をたどるものの、高値圏で推移し予断を許さない状況であります。

このような状況のなか、当社グループは現在推進中である新成長戦略「GO GO PLAN」達成に向けて、当連結会計年度は事業運営体制の強化として「営業力の強化」「業務効率の向上」「品質管理の充実」、事業の拡大として「新規事業の発掘・新商品の開発」「新規顧客の開拓」「海外事業の拡大」に努めてまいりましたが、残念ながら当第1四半期連結累計期間は、その成果をあげることができませんでした。

売上高は8,471百万円（前年同期比1.9%増加）となりましたが、原料高・円安によるコスト上昇分の販売価格への一部転嫁遅れや本年度のコーヒー生豆相場高騰の影響による売上総利益率の低下により、営業損失は205百万円（前年同期は140百万円の営業利益）、経常損失は228百万円（前年同期は115百万円の経常利益）、四半期純損失は154百万円（前年同期は39百万円の四半期純利益）となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。

#### ① コーヒー・飲料部門

##### 1) コーヒー生豆

コーヒー生豆のニューヨーク市場価格は、本年2月以降、ブラジルの天候不順懸念による減産予想を受け相場が急騰し、4月には一時1ポンドあたり214.80セントを付けましたが、その後緩やかに下降し、6月末には175.10セントとなりました。プレミアムコーヒー、主要取引先への販売は順調に推移いたしました。

その結果、コーヒー生豆の売上高は前年同期比2.1%増加いたしました。

##### 2) コーヒー加工品

インスタントコーヒーは、厳しい販売競争により原料用バルクが減少いたしました。レギュラーコーヒーは、前期からの家庭用・業務用の販売強化が進み、焙煎豆およびコーヒーバッグが順調に推移いたしました。

その結果、コーヒー加工品の売上高は前年同期比10.8%増加いたしました。

##### 3) 飲料事業

飲料原料は、ナタデココの販売が引き続き好調であり、その他飲料原料も順調に推移したことにより、売上高は前年同期比73.1%増加いたしました。

茶類は、穀物茶・ウーロン茶の販売が減少したことにより、売上高は前年同期比28.3%減少いたしました。

その結果、飲料事業の売上高は前年同期比10.5%減少いたしました。

これらの理由によりコーヒー・飲料部門の売上高は2,633百万円（前年同期比2.1%増加）となりました。

② 食品部門

1) 加工食品

フルーツや野菜の加工食品は、販売先の業態に合わせた積極的な販売活動を行い、売上高は前年同期比7.2%増加となりました。

イタリアからの輸入食品は、大手ユーザーや有力流通顧客への販売活動を行いました。原材料等のコスト上昇分の価格転嫁が厳しく、売上高は前年同期比6.4%減少いたしました。

国内メーカー商品のうち常温食品の売上高は前年同期比21.8%減少、冷凍食品の売上高は前年同期比11.1%減少いたしました。

その結果、加工食品の売上高は前年同期比13.0%減少いたしました。

2) 水産および調理冷蔵

水産は、外食チェーンや有力問屋へのエビ加工品の販売が増加いたしました。タコ加工品の販売が減少したことにより、売上高は前年同期比0.6%減少いたしました。

調理冷蔵は、惣菜メーカーへ鶏製品販売が好調で、タイ産鶏生肉の販売開始もあり、売上高は前年同期比37.0%増加いたしました。

その結果、水産および調理冷蔵の売上高は前年同期比9.5%増加いたしました。

3) 農産

生鮮野菜は、玉葱および梅の販売が増加したことにより、売上高は前年同期比36.7%増加いたしました。

加工品は、外食チェーン向け野菜加工品、香辛料原料および佃煮原料が順調に推移したことにより、売上高は前年同期比18.2%増加いたしました。

その結果、農産の売上高は前年同期比26.0%増加いたしました。

これらの理由により食品部門の売上高は5,080百万円（前年同期比3.0%増加）となりました。

③ 海外事業部門

販売競争の激化に伴い、アジア向けの輸出が減少したことにより、海外事業部門の売上高は757百万円（前年同期比5.3%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、資産合計は20,843百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,515百万円の増加となりました。これは主に現預金およびたな卸資産の増加によるものであります。

負債合計は13,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,804百万円の増加となりました。これは主に仕入債務および借入金の増加によるものであります。

純資産合計は7,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ289百万円の減少となりました。これは主に当第1四半期連結累計期間の四半期純損失154百万円および配当金の支払い77百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想および配当予想につきましては、平成26年5月13日発表の数値を修正しております。

詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,839,484	2,874,088
受取手形及び売掛金	6,240,996	6,165,958
商品及び製品	3,723,843	4,451,849
未着商品	1,337,952	1,014,346
仕掛品	11,381	9,600
原材料及び貯蔵品	69,797	72,949
その他	310,021	446,253
貸倒引当金	△14,373	△13,515
流動資産合計	13,519,104	15,021,531
固定資産		
有形固定資産	2,709,586	2,696,487
無形固定資産	75,175	82,042
投資その他の資産		
投資有価証券	2,606,526	2,611,459
その他	493,285	502,897
貸倒引当金	△79,479	△73,692
投資その他の資産合計	3,020,332	3,040,664
固定資産合計	5,805,095	5,819,195
繰延資産	3,252	2,648
資産合計	19,327,452	20,843,374

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,129,198	3,362,097
短期借入金	1,772,000	2,652,840
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	1,559,200	1,581,500
未払法人税等	19,625	7,986
賞与引当金	97,747	81,329
その他	1,156,248	1,526,784
流動負債合計	7,874,019	9,352,538
固定負債		
社債	230,000	160,000
長期借入金	2,875,200	3,262,800
退職給付に係る負債	107,080	116,559
その他	671,535	670,863
固定負債合計	3,883,816	4,210,223
負債合計	11,757,836	13,562,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	6,402,590	6,170,968
自己株式	△107,415	△107,415
株主資本合計	7,275,375	7,043,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,786	59,072
繰延ヘッジ損益	17,434	△29,183
為替換算調整勘定	33,513	30,171
その他の包括利益累計額合計	110,734	60,060
少数株主持分	183,506	176,799
純資産合計	7,569,616	7,280,613
負債純資産合計	19,327,452	20,843,374

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	8,314,200	8,471,609
売上原価	7,197,370	7,638,217
売上総利益	1,116,829	833,392
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△3,126	△2,444
報酬及び給料手当	239,204	274,556
賞与引当金繰入額	70,756	70,841
その他	669,229	695,921
販売費及び一般管理費合計	976,063	1,038,875
営業利益又は営業損失(△)	140,766	△205,483
営業外収益		
受取利息	977	1,210
受取配当金	1,293	1,295
受取賃貸料	5,550	4,950
その他	13,965	10,140
営業外収益合計	21,787	17,596
営業外費用		
支払利息	25,821	23,363
持分法による投資損失	13,695	9,175
その他	7,500	8,183
営業外費用合計	47,017	40,721
経常利益又は経常損失(△)	115,536	△228,607
特別利益		
投資有価証券売却益	165	—
特別利益合計	165	—
特別損失		
固定資産売却損	243	—
特別損失合計	243	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	115,458	△228,607
法人税、住民税及び事業税	5,589	6,135
法人税等調整額	72,023	△77,814
法人税等合計	77,612	△71,678
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	37,845	△156,929
少数株主損失(△)	△1,737	△2,389
四半期純利益又は四半期純損失(△)	39,583	△154,539

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	37,845	△156,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,002	3,117
繰延ヘッジ損益	△150,618	△46,617
為替換算調整勘定	10,460	△3,341
持分法適用会社に対する持分相当額	15,743	△3,831
その他の包括利益合計	△121,412	△50,673
四半期包括利益	△83,566	△207,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,829	△205,213
少数株主に係る四半期包括利益	△1,737	△2,389

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。